



# 人への投資が会社を伸ばし、顧客サービスを広げます

社会経済を支える動脈、物流。今回登場する(株)アクティチャレンジは輸送や倉庫などの業務を行い、県内の経済活動を支えています。同社の中村雄三社長に話をうかがいました。

## 平

成13年に創業、16年に法人化して以来、多くの顧客から信頼されて業務を行っている(株)アクティチャレンジ。

中村社長は、異業種からこの業界に入つて当初は数人でスタートしましたが、すぐに大きく発展。現在は80人を超える社員と約70台の車両で顧客へのサービスを提供しています。また自社に整備部門も置き、社内だけでなく取引企業など一般の顧客の車両整備も引き受けています。

「経営理念は、法人化する約1年前に私が作りました。栃

木県中小企業家同友会で経営指針の勉強会があり、そこで学ばせていただきました」

現在は経営信条、経営方針なども定め、会社の考え方が社員一人ひとりにきちんと伝わるようにしています。

経営方針に「人への投資が会社を伸ばす！ 人をつなぎ、未来をつなぐ」とある通り、人材育成には力を注いでいる同社。運転免許などの資格だけではなく、服装やマナーなどもしっかりと指導しています。

「社員教育をしっかりとおこなっていることが、

お客さまからの信頼につながりました」と話す中村社長。平均年齢が35歳と若いことも、社員教育の重要性を高め、その結果が営業成績にも結びついているということです。

6年前にISOを取得。品質管理や安全管理にも力を注いでいます。平成26年には栃木県地方安全衛生大会で、労働災害防止の功績賞を受賞しました。

「主要な業務は、航空貨物便の配送です。航空便は貴重品や重要書類など、間違いが許されない貨物が多いため、誤配達や破損などを起こさないように緊張して業務に当たっています。他社に無い高品質、高度な配送技術を提供することで、顧客満足度を高めています」

社内では経営計画をもとに各部門が実行計画を策定、そこからさらに個人目標も立てて実行させて

います。これにより業績を上げることがもちろんですが、一人ひとりに会社の経営を自覚させ、責任ある仕事への取り組みにつながっています。

今後は、より一層の人材確保育成に努めたいと中村社長は話します。

「それには労働時間短縮や福利厚生の実現、給与体系の見直しなど、社内のさまざまな整備を進めていくつもりです。また、冷凍食品や生鮮食品輸送への対応体制も整ってきましたので、さらに広い顧客獲得にも努めていきます」

営業エリアも栃木県内や関東地方だけでなく、関西や東北などより広いエリアをめざしているとのこと。今後の大きな飛躍が期待される(株)アクティチャレンジです。



社員全員が参加する研修風景



お客様の大切な荷物を確実に、安全に届けるのが使命



本社社屋

### 経営理念

株式会社アクティチャレンジは、  
人間性尊重の立場に立ち  
地域に愛され繁栄する  
総合物流企業を目指し  
物流事業の  
リーディングカンパニーとして  
創造的行動による社会、  
経済の発展向上に貢献する

### Information

株式会社アクティチャレンジ  
代表取締役社長 中村 雄三  
創業/平成13年  
所在地/宇都宮市西川田6-6-21  
☎ 028-680-6411  
☎ 028-680-6412  
http://www.acty-challenge.com



株式会社アクティチャレンジ  
代表取締役社長 中村 雄三 氏